

日田商工会議所 キャッシュレス委員会 議事録

1. 日 時 令和8年2月19日(木) 11:00～

2. 場 所 日田商工会館 4階 議員サロン

3. 出席者

(会 頭) 瀬戸 亨一郎

(担当副会頭) 谷口 知幸

(委 員 長) 宮野 大樹

(副委員長) 東 真吾

(委 員) 梶原 智敏、小野 智宏、大塚 智、中山 英明、安田 徳章、
中村 広樹、中川 和也、平川 好美、浦中 直也

(事 務 局) 樋口 恒成、大石 昭典、松尾 真理、西馬 優花、春口 国博

4. 議事経過

1) 委員長挨拶

・宮野委員長より開会の挨拶があり、本日の議題についての協力依頼がなされた。

2) 議題

(1) 事業について

① R6 年度 キャッシュレス決済に関するアンケート結果

・宮野委員長より、令和6年5月に実施したアンケート結果(回答514件)について報告がなされた。小売・サービス業では導入が進んでいる一方、建設・製造業等のBtoB産業では必要性が薄いという現状が共有された。

・平川委員より、未導入事業者が前向きになれるよう、結果をグラフ化するなどして会員へフィードバックすることが重要であるとの意見が出された。

・中村委員より、先進地の調査データ等をもとに目標設定をしていくことが必要であると意見が出された。

・意見交換を踏まえ、今後は定期的な調査を行うとともに、先進地の事例やデータを事務局にて調査・共有する方針が決定された。

② ひた pay について

・宮野委員長より、2月上旬より開始された「ひた pay」の申込状況(申込者約1,257人、登録店舗701店)について報告がなされた。本来目指すべき完全電子化と、現状の紙商品券併用による課題(郵送コスト等)について議論が行われた。

・谷口担当副会頭より、事業者が手数料等を理由に敬遠するのではなく、消費者ニーズの変化に対応できるようマインドを変えていく必要があるとの所感が述べられた。

・商工会議所として引き続き会員事業所への登録促進や情報発信を行うことが確認された。

③ 八女市 中小企業 DX 支援事業費補助金

・宮野委員長より、他地域の先進事例として八女市の DX 支援補助金について情報共有がなされた。

(2) その他

・事務局より、キャッシュレスに限らず DX 等に関する有益な情報は、随時委員会で共有してほしいという旨を伝えた。

3) 閉会（まとめ・今後の動向）

●アンケート結果の会員へのフィードバック：

令和 6 年 5 月に実施したアンケート結果をグラフ化するなどして、未導入事業者が前向きになれるよう会員へフィードバックする。

●先進地の事例やデータの調査・共有：

今後の目標設定に役立てるため、定期的な調査を行うとともに、事務局にて先進地の事例やデータを調査・共有する。

●「ひた pay」の登録促進と情報発信：

商工会議所として、引き続き会員事業所への登録促進や情報発信を行う。

●事業者のマインドチェンジへの対応：

手数料等を理由に敬遠するのではなく、消費者ニーズの変化に対応できるよう事業者のマインドを変えていく。

●DX 等に関する有益な情報の随時共有：

キャッシュレスに限らず、DX 等に関する有益な情報があれば、随時委員会で共有する。

(記録終了)